

ー又吉選手インタビューの続き

ー沖縄料理で好きな料理は何ですか？

又吉「島豆腐とホークの味噌汁、ゴーヤチヤンブルー、カチュー湯、それから、衣の厚い魚天が大好きですね(笑)。沖縄を離れてからビールが飲めるようになったのですが、やっぱりオリオンビールが一番ですね。最高です。ーでは、名古屋の印象はいかがですか？」

又吉「街並みがきれいですね。ご飯も美味しいです。手羽先もうまくつたし、ひつまぶしがとても美味しかったです。」

ー最後に愛知沖縄県人会連合会ひと言をお願いします。

又吉「皆さんに美味しいお酒を飲んでいただけるように活躍したいと思っておりますので、中日ドラゴンズと又吉克樹に声援をよろしくお願いたします。」



ーあいちごういびきでした。

入成りとしても周りに細やかな気遣いのできるところがインタビュー中にも見受けられ、その年齢からは思えない落ち着きと行動性。何よりも常に感謝の言葉を口にされる姿は、心打たれるものでした。

ちなみに好みの女性は木村沙織(バレエボーイ選手)「アスリートが好きなんです。」という又吉選手の「活躍を祈り、県人会の皆様と一緒に応援していきたいものです。」

二〇一三年 十月十七日 名古屋国際ホテルにて  
〔聞き手〕  
仲宗根真 加藤隆也、坂根美恵、仲宗根広子

### 私の戦争体験 ①

黒島 彦 (知多郡阿久比町在住)

大阪で生まれ、両親の故郷、石垣島に疎開した時に九死に一生を得た黒島彦(ひろし)さん、七九歳が、昨年、在住の阿久比町の老人会で語った戦争体験を県人会の紙面でも紹介して頂ける事になりました。貴重な体験を4回に分けてお送りいたします。

皆さんこんにちは、八月は六日と九日の広島長崎の原爆の日。そして十五日の終戦記念日、更に遡ること六月三日の沖縄戦終結の日(司令官、牛島中将が自決し実質的な日本軍の組織だった戦闘行為が中止と、忘れることのできない戦争の悲惨さがマスコミで連日報じられています。今回は私の戦争体験をお話しさせていただきます。

私はいつも暑い夏が来ると思い出すのが敗戦の日です。今年で六十八年目になります。私は戦時中、幾度か死に直面してきましたが、これらことは昨日の出来事のように脳裏に焼き付いています。

昭和十八年八月小学三年生の一〇歳まで大阪で生活していましたが、戦況が徐々に厳しくなり、大阪から沖縄県の石垣島へ疎開しました。そして、石垣島では一〇歳から一九歳までの九年間の多感な思春期を過ごしました。私は昭和ひと桁、いわゆる昭和シンドルです。皆様方は私とほぼ同世代の方々ならば、それぞれの戦争体験がありでしょうが、今日は私の変わった切り口で七〇年前の戦争体験をお話しさせていただきます。

一、東京へ海で敵の潜水艦から魚雷攻撃を受け沈没  
死を覚悟

さて、皆さま戦時中にゼロ戦という言葉をよく耳にされたと思います。  
このゼロ戦の正式名称は三菱零式艦上戦闘機でこれをゼロ戦と言っています。

### 春の選抜甲子園大会に 美里工業高校と沖縄尚学高校の 沖縄県勢 2校が選出

昨年秋季の高校野球、九州大会が沖縄県内で開催され沖縄尚学が優勝、美里工業が準優勝という偉業を達成し2校の選抜大会への出場がほぼ確定しました。

今回は美里工業高校の四期卒業生で元野球部である愛知沖縄県人会役員との那覇政治さん(北谷町出身)にお話を伺いました。

ー母校の甲子園出場おめでとうございます。ー母校の甲子園出場おめでとうございます。ー自分がやっていたときは、県大会でベスト4が最高だったので、どれほど待ちかたてていたか。もうすぐ嬉しくて電話で泣いたよ。すごく盛り上がりつつあるよ。今はバスをチャーターしたり、大阪と連携をとって応援団を組織準備をしています。

自分が甲子園を意識したのが、小学生の時の一九六八年の興南旋風の時、美里工業に入学してからは、甲子園を目指して頑張っていたので、後輩たちの快挙は本当に嬉しいよ。



店内に出場決定の色紙を貼り  
バックアップ体制の與那覇さん  
自身が経営する「真心」にて

学校がある泡瀬地区の人たちも本当に喜んでいるだろうな。昔から我々が試合で勝ったり、ホームラン打ったりすると、食堂の人が「はい食べなさい」とたくさんの食事をサービスしてくれたものだったよ、本当にありがたいね。

太平洋戦争開戦当初は聯合軍が最も恐れていた戦闘機で、この戦闘機が開発されたのが昭和十五年であり、又皇紀二六〇〇年に当たり、下二桁の数字を取ってゼロ式戦闘機と名付けられたそうです。

私は、その翌年、昭和十六年日本にとっては戦雲急を告げる年に大阪市阿倍野区の清明が丘国民学校に入学しました。

学校では毎日金鶏輝く日本の…起源は二六〇〇年あり徳の胸はなる」と戦意を高揚する歌を歌わされていました。

そしていよいよこの年の十二月八日、太平洋戦争が勃発しました。開戦当初は、ハワイ真珠湾攻撃から連日連勝の大本営発表により、国内は戦勝気分が湧き立ちました。昭和十八年ごろから戦況がおかしくなり私達は昭和十八年八月、沖縄県の石垣島の疎開を決定しました。…つづく

### 港川繁民謡研究所(琉球民謡協会所属) 第二期定期発表会&のど自慢大会開催

愛知県豊田市の鶯鳴区民会館で昨年十二月一日、港川繁民謡研究所、第二期定期発表会&のど自慢大会が開催されました。同研究所は東海地区を中心として合計十五の教室があり、普段顔を合わせることもない生徒同士の交流を目的として、二年前より同大会を開催。三回目となる今年は、生徒およびその家族、および交流のある方々を招き、百名以上の参加者となりました。



第一部では各教室の発表会。それぞれ選曲した民謡を唄い、日頃の練習の成果を披露しました。第二部はのど自慢大会。九組のエントリーのなか、優勝し

今度は自分たちが応援する番、沖縄尚学も含め、後輩たちを後押ししたいね。  
ー話しをする那覇さんは、我がこのように喜んでいました。応援団に参加したい方がみえましたら那覇さんまでご連絡ください。  
連絡先 真心 052-991-2788  
みんなで応援いきましょう。

### 沖縄Dヘリから支援のお願い

「救える命を救いたい」メッシュサポート

愛知沖縄県人会主催の「毛遊び」で、皆さんに募金をお願いしている沖縄ドクターヘリのNPO人、メッシュサポートからの支援のお願いです。ぜひお力をお貸しください。



お問い合わせ 0980-54-1006  
振込み用紙のダウンロードは  
<http://www.meshsupport.jp>  
「救える命を救いたい」

あいち沖縄まつり 毛遊びでの募金活動では、皆さんから頂いた御厚情が支えの一部となっており、感謝する次第です。

我々の主な活動地域である沖縄本島北部は二〇〇七年に医師不足に伴い、それまでであった7つの診療所が閉鎖となりました。そのため地域で生活を送る人々は市内の病院まで1時間程度の時間をかけて通っています。

反面、本島北部は農作業中の事故や交通事故など緊急患者が多発する地域でもあります。しかし、運営面では常にギリギリの状態です、皆様からの支援をよろしくお願致します。

### 『沖縄二世』 松川 伸之

内地で生まれ内地で育った沖縄出身者の子供たのは本部町瀬底出身の仲田和子さん。琉球民謡「石くびり」を唄い自慢の喉を披露されました。

また今回は、沖縄からゲストとして同協会那覇支部に所属する石川陽子さんを迎えました。本場沖縄からやってきた先輩の素晴らしい唄三線に、参加者全員が聞き入っていました。 大住 友和

### 沖縄県 管財課から 不明土地調査のお願い

沖縄には先の大戦で多くの住民が亡くなり、書類が焼失したことで所有者不明の土地が数多くあります。

沖縄県が戦後行なった所有権認定作業時(一九四六年〜一九五一年)に、所有権の申請がなかった土地を所有者不明の土地といえます。内地にお住まいの方でお心当たりのある方は、どうぞ左記までお問い合わせください。

松川 伸之

を『沖縄二世』と呼ぶのを皆さんご存知でしょうか？かつて子供の頃住んでいた父の会社の社宅には、沖縄出身者が沢山住んでおり、その出身家族で構成される、沖縄同好会では、潮干狩り、芋掘りなどの行事を行っていました。中でも一番記憶に残っている行事は、東別院ホールで行われた愛知沖縄県青年会主催の『文化祭』です。現在、名古屋港で行われる県人会主催の『もうあしび』同様、方言の芝居、琉球舞踊、民謡ショーなど、そこには沖縄の文化があり、同郷者によるかくし芸大会の様なものも。今想えば自分の原点はここにあると思います。文化祭という一大行事が無くなり、中高六年間は、ほぼ沖縄と関わりなく暮らしました。高校を卒業してすぐ、久しぶりに沖縄へ行った当日、療養中の祖父の見舞いに行くと、容体が急変し、最後を看取するという経緯をみました。親族皆が集まり、医師が酸素マスクを外した後、祖父はゆっくりと首を動かして一周見渡した後、天井を見上げ終焉を迎えました。その際、祖母と叔父は祖父に向かって唄を唄っていました。母方の実家のある宮良村(石垣島の豊年祭の唄でした。

同じ沖縄県に住んでいても離れた自分のふるさとを思い、それに唄で応えた祖母と叔父を見て、沖縄を強く意識するようになり、それ以来、自然と沖縄へ行く回数も増えました。

社会人になり友人の結婚式の余興でエイサーを踊った事がきっかけで、みやくエイサーを立ち上げ、あつという間に十一年が経ちました。連合会主催や加担団体主催のイベントを通して子供の頃、参加した文化祭で、司会や運営をされていた方達に十数年ぶりに会い、凄く気持ちが高揚したのを今でもはっきり覚えてます。この時『文化祭』と『もうあしび』の違いがやっと解ってきた気がします。何事にも昔の方が良かったと言った意見もありますが、県人会は何の集まりなのか、連合会理事をはじめ会をまとめる人達が十分話し合い、

ーお互いを理解し合い、気持ち共有できることが一番大事ではないでしょうか？  
沖縄を内地の人にPRする事も大事だとは思いますが、内地にいる沖縄出身者をもっと大事にして、一緒に沖縄を想い続け、力を含ませて今を力いっぱい生きることが出来れば、連合会の存在も今以上にかけがえのないものになるのではと思います。

今は、コンビニでも泡盛が買え、沖縄料理店も数えきれないくらいあり、親の時代や自分の子供の頃に比べると沖縄をずいぶん近くに感じることが出来ます。だからこそ沖縄出身者の繋がりを大事にして、皆で楽しく集まれる会であることを連合会に期待して、微力ながら参加していきたいと思えます。父となった今、様々な苦労を乗り越えてきた親たちを自習しながら私も次世代に思いをつないでいけるようしっかりと背中を見せたい。沖縄から出て来た多くの先人達のように…。

松川 伸之

築100年の時を刻む空間と沖縄音楽が  
ゆったりと貴方を包み込む。  
うちな〜たいむ 瀬戸  
Bistro Cafe 沖縄時間 もやい処  
〒489-0043 瀬戸市朝日町10番地  
TEL/FAX (0561) 84-6783  
営業時間 8:00-23:30 不定休

愛知沖縄県人会連合会 賛助会員募集中  
愛知沖縄県人会連合会は、賛助会員を随時募集しております。  
年間2,000円の賛助会費で愛知の沖縄情報とお得なサービスをゲットしてください。  
沖縄好きなか、ご興味のあるかた是非HPをご覧ください。  
<http://aichi-okinawa.org/>

広告募集のお願い  
2014年度の会報と愛知沖縄ガイドの協賛広告を募集いたします。  
愛知沖縄県人会は、皆様方の御厚情により運営されます。広告期間は、2014年4月～2015年3月1枠1万円になります。ご協力のほど宜しくお願いいたします。  
お問合せは 080-5168-5422 仲宗根まで

◆愛知沖縄県人会 今後の行事◆  
★2014年 3月23日(日)  
愛知沖縄県人会連合会「鳥くとば ゆんたく会&敬老会」  
おじー、おばー にふえーでーびる。め〜んそ〜れ (詳細1面参照)  
★2014年 4月20日(日) 予備日27日  
第7回 おかざき沖縄まつり (詳細 1面参照)

居酒屋 めんそーれ  
兎と兎と兎と  
一宮市昭和3丁目2-19  
TEL0586-43-6667

おきなわカフェ  
やんばる  
ソーキそば・サターアンタギー  
10:00~18:00 0565-76-7372  
月・火 定休 豊田市白川町日置274-25 比嘉 るみ子  
<http://www.015.upp.so-net.ne.jp/yanbaru/>

沖縄家庭料理  
世果報  
林久江  
〒473-0912 豊田市広町広田512  
TEL0565-52-4727 携帯090-7681-9387  
営業時間 17:00~24:00  
定休日 日曜日・第3月曜日

沖縄居酒屋 ゆいゆい  
大城節子  
〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目8番27号  
栄じーネビル1F  
栄プリンセス大通り かに本家隣  
TEL 052-263-5663  
<http://yuiyui.kidane.com>  
定休日:火曜日

沖縄料理 シーサー  
〒474-0074 愛知県大府市共栄町9-9-9 TEL 0562-44-3799  
<http://www.okinawa-seesaa.jp/>

琉球民謡保存会・東海支部  
山田文門民謡研究所  
教師 山田 文門  
〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目14-1  
TEL (052) 253-6190  
携帯 090-1414-9905